



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年05月13日 第918号「週刊五十嵐レポート」

歯ブラシとタオル

トヨタ自動車の決算発表を動画で観た。記者から車の「所有と共有(ライドシェア)」について訊かれた。

豊田章男社長は、「喩えとして、『歯ブラシとタオル』。ホテルに泊まる時、歯ブラシは共有されない。タオルは共有される。この違いは何なのか。タオルは共有するにせよ、清潔である、安心・安全である、ということが分からないと共有はしない。歯ブラシは、清潔である、安心・安全であっても自分の所有でいく。なぜか。

ここに愛のつく、工業製品・自動車が所有と共有があったとしても、その辺に答えが隠されていると思う。こういうことを社内でエンジニア、営業マン、管理職と議論しはじめています。結論は出ていない。トヨタは両方を狙う。

他の記者から「トヨタが最も恐れているもの(課題)は何か」との質問に、豊田社長は、『「トヨタは大丈夫でしょう。社長は何を心配しているのですか。』が一番危険な言動。

これだけ世の中が変わっている中、日々いろいろな事件が起こっている中、全ての変化に研ぎ澄まさせて、変化に追いつく、企業体質というのをこれだけ大きな会社でやっていく中で、『トヨタは大丈夫でしょう』という気持ちが一番危機に陥るのではないかと。価値観を向上させる。回りからなんとわれようとも価値観を高めることがお客にとっても私どものパートナーにとってもどなたにとってもいいことだ。

「この10年間、長く社長をやるつもりはなく、毎日必死で生き抜いていった結果、今日がある。毎日、今日も生きていた。明日トヨタの経営に携われることを必死に続けてきた結果、今になってきた。毎日ハラハラドキドキしている」。

歴史に学ぶと、日本のパソコンは世界から消え(日本では存続している)、日本の家電は韓国・中国に凌駕された。さて自動車はどうなるのか。

日本で一番厳しい環境に置かれている社長はトヨタの社長ではないか。

ちょっと
気になる出来事

戦略社長塾で経営を学んで2年が過ぎたA社長の話。

昨年6月に初めて経営計画発表会を行った(今年も行う)。戦略社長塾で経営を学ぶ前と学んだ後では考え方が変わったと言う。

学ぶ前は、每期なんとか税金を少なくしようと考えていた。学んでからは、会社を潰さないため、いい会社になるためには自己資本を充実しなければいけないと考え始めた。それには税金を納めないで自己資本は高まらない。業績が伸びて従業員も増えてきた。従業員に夢のある会社にするために給与規定を作った。

信用調査会社の人と情報交換があった。倒産件数は減ったが、賃金は上がっていない。定期昇給よりもボーナスで調整している会社が多い。

A社長、「それって、経営者として不合格じゃない。利益を上げて賃金を上げて、社会貢献」。平気で言えるようになった。「来年もいい成績上げて、(目標を掲げている)こっちへ行こうぜ」。自分も成長した。

小規模1位を積み重ね、強い会社とは戦わない。それで高収益を作り出した。それを実行している社員に賃金で報いる。善の回転。



一口メモ
知識

自分の過ちがみえているか

他人の過ちはみえやすいものです。

しかし、本当にみえているわけではありません。

自分の勝手な思い込みでみていることが、よくあります。

自分が同じ過ちやもっとひどい過ちをおかしたときには、

「大したことはない」とごまかしたり、
あらゆる工夫して正当化しようとします。

自分に対するその態度を、どうして他人に対してもとうとしないのでしょうか。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

